



住吉小だより

<http://www.fuchu12s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

電話 042-361-6319

FAX 042-334-0873

府中市立住吉小学校
校長 木下 和紀
令和7年7月18日
令和7年度 第5号

チーム住吉：困った時には、頼ることができる

校長 木下 和紀

7月9日（水）5年生が一般社団法人ケアラーワークスの方から「ヤングケアラー出前授業」を受けました。「ヤングケアラー」とは、「大人がするような家事や家族の世話などをしている子供・若者のこと」を言い、具体的なケアの内容例は、以下の通りです。

ヤングケアラーはどのような状況の人なのか？

【ヤングケアラーが担っているケアはいろいろある】
引用元：厚生労働省ホームページ

障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている

家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている

目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている

ケアの経験がある

中学2年生 約17人に1人

高校2年生 約24人に1人

国の調査結果より



出前授業では、子供役に扮した担任が、「ヤングケアラーの一日」という、15分程度の寸劇を行いました。兄弟の世話、ごみ捨てや食事の支度等の家事、親の服薬の声掛け等の世話、学校の宿題 等々たくさん抱えて、身動きが取れなくなることを、具体物を手に持つことで表現しました。この子の気持ちについて質問され、子供たちからは、「大変だ」、「心配」「逃げ出したい」などの意見がでました。誰に相談すればよいのかとの質問に、「近所のおばさん」「友達」「学校」などの意見がでました。司会者からは、相談できる人として、「スクールカウンセラー」、「ヤングケアラーコーディネーター」、「子育て世代包括支援センターみらい」、「学校の先生」など、誰にでも相談できることを伝え、様々な大人の手助けにより子供役を担当が持っている具体物が1つずつ外されていき、最後は大好きなドッジボールを楽しめるようになったところで、寸劇は終わりました。続いて、ご自身が小学校時代からヤングケアラーだった方の体験談を聞いて、ヤングケアラーについての理解を深めました。

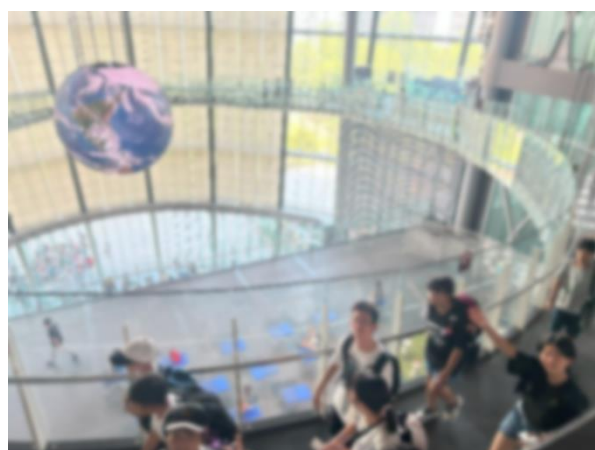
今回の目的は、ヤングケアラーの問題に限らず、自分の困ったことを相談しても良いということを知り、本当に困った時には一人で抱え込まずに、声を出することができるようになることにあります。住吉小の地域および府中市には、子供たちの相談できるたくさんの大人がいます。相談されれば必ず力になってくれます。これは、子供のみならず、保護者などの大人にとっても同じことです。「困ったことがあれば、相談したり、頼ったりすることができる」、そして、「助けてもらいながら、解決に向けて進んでいく」という手立てがあることを知っておくことも大切です。社会はお互いに助け合って成り立っていくものです。それが「チーム」であることの大切な意義ではないでしょうか。

さて、明日から長い夏休みになります。全ての子供にとって、有意義な夏休みとなり、9月には、元気に成長した姿でまた会えることを楽しみにしています。

★社会科・理科見学（6年生）★

6月27日（金）、国会議事堂（千代田区）と日本科学未来館（江東区）へ社会科・理科見学を実施いたしました。国会では学習内容を踏まえて政治の現場を間近に見学し、午後は班行動で最新科学の展示を体験しました。「もっと時間がほしかった」「班の友達と協力して回れた」との声が上がり、学びへの意欲が一層高まっております。バスから望んだスカイツリーやお台場にも歓声が上がりました。

当日のお弁当等のご準備をはじめ、ご家庭のご協力に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



★社会科見学（4年生）★

7月11日（金）に、クリーンセンター多摩川（稲城市）と多摩川上流水再生センター（昭島市）へ社会科見学に行きました。クリーンセンター多摩川では、燃やすごみや燃やさないごみがどのように処理されているのかを、水再生センターでは、下水がどのように処理されているのを実際に見て学びました。

しっかり挨拶をして話を聞いたり、しおりに書ききれないほどメモを取ったりと、4年生らしく真剣に学習に取り組む姿が見られました。



個人面談期間中の待合室の設置について

7月22日（火）から31日（木）の期間で個人面談を実施します。暑い日が予想されますので、各階に冷房の効いた待合室を設置いたします。ぜひ、ご利用ください。

1階：第2算数教室

3階：多目的室2

4階：第1算数教室

★ラグビー特別授業 東京サントリーサンゴリアス（6年生）★

7月10日（木）に、府中市にあるラグビートップチーム「東京サントリーサンゴリアス」の現役選手の江見翔太選手、スタッフの村田大志さん、長友泰憲さんが住吉小学校に来てくださいました。子供たちに、選手人生や仕事の挫折などの話を通して、失敗してもあきらめないことや自分の人生は自分で選択すること、チャレンジすることの大切さを教えていただきました。一線で活躍しているプロの選手の話は説得力があり、皆とても真剣に聞いていました。1学期に学習してきた仕事へのやりがいも聞くことができ、大人になるとはどういうことなのか、少し考えが深まったようでした。



★着衣泳の授業 セントラルフィットネスクラブ府中（5・6年生）★

7月16日（水）に、5・6年生が着衣泳を行いました。お天気が心配されましたが、雨の合間をぬって実施することができました。講師の先生の指導の下、着衣のまま水の中を歩いたり、浮いたりすることに挑戦しました。普段は水着だけで泳いでいますが、服や靴の中に入った空気でも浮きやすくなることを感じました。6年生は2回目ということもあり、浮くことがとても上手にできました。最後にペットボトルを使ってみるとさらに「浮きやすい！」ととても驚いていました。自分の命を守るために、そして人の命を助けるために大切な学習ができました。夏休みに入りますが、保護者の皆様にはお子様の安全管理にご協力いただき、元気な姿で2学期にお会いできることを願っています。



○夏季休業中の学校閉庁日について

「府中市立学校における働き方改革推進プラン」実施に伴い、8月12日（火）～15日（金）が学校閉庁日となります。この4日間および土日祝日に学校へお電話いただいた場合、留守番メッセージが流れます。ご理解のほど、よろしくお願いします。

また、平日の学校閉庁日で緊急に連絡が必要な時は、府中市教育委員会指導室までお願いします。

府中市教育委員会教育部指導室 042-335-4063